

行政評価シート

事務事業名	畜産振興事業			事業開始年度	平成17年度
担当部	産業部	担当課	農業振興課	担当係	農産振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(3)個性あふれる地域農業を形成します
施策 (手法)	②ブランド化の推進と販路拡大
取組事項	I. 特産品ブランド化の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	畜産の産地化・差別化が進み、ブランド力が市場価値に直結している中、評価の高い銘柄牛等の家畜の導入・改良を進めるとともに、関係機関との協力を緊密にし販路開拓を進め、ブランド力の整備を行い畜産経営の安定を図る。 また、高齢化や後継者不足等の対策として、国の畜産クラスター関連事業を活用し、法人化や6次産業化関連施設、省力化施設の導入を推進する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	①改良事業推進・・・肉用牛受精卵導入、優良牛精液導入 ②優良牛等導入推進・・・優良繁殖雌牛保留確保・改良拡大事業(市内導入、市外導入、自家保留、乳用牛育成事業(血統登録)、優良牛(乳用牛)導入事業 ③畜産クラスター関連事業の畜産競争力強化整備事業・・・施設整備
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	家畜改良頭数			指標の単位	頭数
指標の説明	良質な生乳生産能力の高い牛群整備及び遺伝的な産肉能力が高い牛群整備を目的とした家畜改良を行い地域のブランド力向上につながった頭数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	1412	1438	1438	1438	1438
実績(見込)値	1045	1164	1217	1115	1294
達成度(%)	74	81	85	78	90
指標名②	施設整備数			指標の単位	棟数
指標の説明	畜産クラスター事業を活用した経営規模の拡大や自給飼料の利用拡大、新技術導入による省力化等施設整備した施設棟数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	1	1	1	1	1
実績(見込)値	0	0	0	0	0
達成度(%)	0	0	0	0	0
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	畜産団体との協議により事業の大きな見直しを3年に1度実施してきた経過もあり、令和2年度より改善された事業内容で運用しているが、生産者の高齢化や担い手不足等により飼養戸数の減少と飼養頭数の伸び悩みが明らかであり生産基盤の弱体化が課題である。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	県、JA及び畜産団体と協議し、活用し易い事業内容に見直しを行い、継続的に事業の成長発展を図る。 また、新たな技術の導入を推進し、生産性の向上や農作業の省力化を図る。